



京都大学医学部附属病院 腎臓内科 臨床研究に関する情報の公開

作成日: 2019/04/09

1.研究課題名	慢性腎臓病教育入院の患者 QOL 向上に対する効果の検討
2.研究責任者	京都大学大学院医学研究科 腎臓内科 石井 輝
3.医の倫理委員会承認番号(承認日)	R (年月日)
4.研究期間	承認から まで
5.研究計画の改訂と医の倫理委員会承認時期	1.年月日承認(初版)
6.研究目的	慢性腎臓病は進行すると末期腎不全を来し、腎代替療法を要することとなる。本邦では透析患者数が年々増加し、2017年には33万人を超えるに至った。また慢性腎臓病は脳血管疾患や心血管疾患の危険因子となることも知られている。慢性腎臓病の進行を遅らせるためには、薬物療法とともに食事療法などの自己管理が重要である。そのため多種職による患者教育が推奨されており、京都大学医学部附属病院腎臓内科でもこれまで慢性腎臓病教育入院を実施してきた。教育入院の効果判定の指標として、医学的客観的な治療結果(例えば血清クレアチニンやeGFRの変化率や透析導入率など)のほかにPRO(patient-reported outcome)も重要である。そこで今回、腎臓領域で国際的に使用されているQOL質問表:KDQOL-SF™(the Kidney Disease Quality of Life Short Form) version1.3を用いて患者の実感するQOL変化を把握することで、より効果的な教育入院プログラムを構築することを目的とする。
7.研究概要	慢性腎臓病にて京都大学医学部附属病院腎臓内科で慢性腎臓病教育入院を実施した患者。入院前後でKDQOL-SF™(the Kidney Disease Quality of Life Short Form) version1.3を記入してもらい、結果を点数化し、入院前後で比較することにより、教育入院の患者QOLに及ぼす効果を検討する。この研究への利用を望まれない方は以下の連絡先「研究辞退の申し込み先」へご連絡ください。
8.倫理面での配慮 個人情報保護の方法	この研究はヘルシンキ宣言(世界医師会)、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(厚生労働省)を守って行います。この研究は京都大学医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。ご提供いただいた試料は、研究用のコード番号で管理し、ご提供いただいた方の個人情報研究利用の段階で漏えいすることがないように管理しま



	す。研究辞退のお申し出をされても、診療上の不利益を被ることはありません。
9.結果の公表について	この研究によって成果が得られた場合は、国内外の学術集会・学術雑誌などで公表します。その際にも、ご提供いただいた方の個人情報が明らかになることはありません。
10.研究組織・共同研究機関	この研究は、京都大学医学部附属病院腎臓内科が研究を推進します。
11.研究組織と本研究の問い合わせ先	京都大学医学部附属病院 相談支援センター 電話：075-751-4748 腎臓内科 石井 輝
12.研究者から一言	
13.関連する研究番号と課題名	なし